

金山まちづくりビジョン



2022年1月

公益財団法人 名古屋まちづくり公社



# 目次

- 1** / はじめに
- ・ビジョンの役割
  - ・ビジョンの検討経緯
- 2** / 金山地域の現況と課題
- ・現況分析
  - ・まちづくりにおける金山地域の課題等
  - ・金山の将来像
  - ・まちづくりの方向性
- 3** / 金山の未来と公社の役割
- ・金山まちづくりのビジョン
  - ・『Playable KANAYAMA』イメージ
  - ・公社の役割
- 参考**
- ・都市再生整備計画、都市利便増進協定とは
  - ・都市再生推進法人とは

# 1 / はじめに

- ビジョンの役割
- ビジョンの検討経緯



金山地域は、JR東海道線・中央線、名古屋鉄道本線、名古屋市営地下鉄が交差し、一日の乗降客数は中部圏で名古屋駅に次いで2番目に多い交通の要衝です。

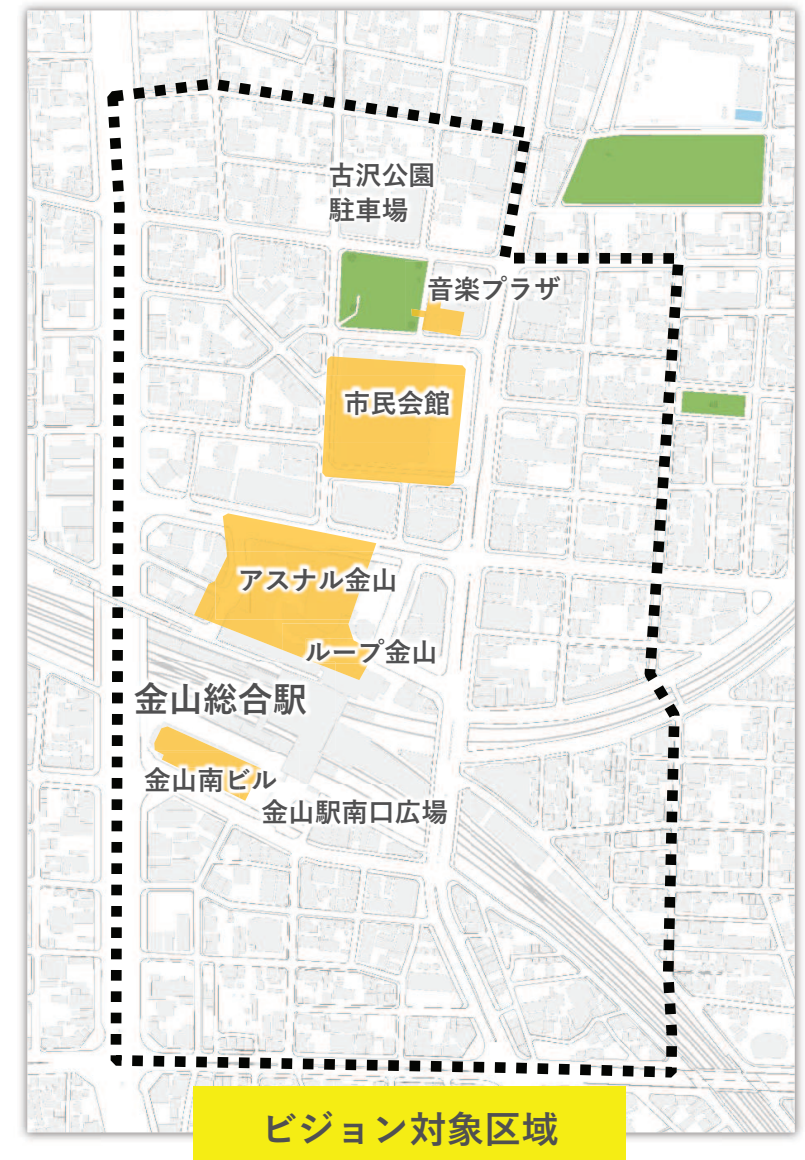
しかし一方で、鉄道線路等により長らく地域が南北に分断された状況が続いていました。その後、1989年の金山総合駅・連絡橋の整備により駅の南北をつなぐ基盤ができ、1999年の金山南ビル、2005年のアスナル金山の完成など、南北それぞれの駅前拠点も整備が進み、徐々に活気づいてきましたが、地域の一体的まちづくりというまでには至っていないのが現状です。

今後はさらに、金山駅北口で大規模再開発の構想が具体化しつつあり、より一層の南北の一体的なまちづくりが求められます。そのため、ハードのみならず、地域の賑わいづくりや環境整備などソフト面でのまちづくり活動に、住民や事業者など地域が主体となって取り組むエリアマネジメントの推進が必要と考えます。

名古屋まちづくり公社は、金山総合駅連絡通路橋、金山南ビル、アスナル金山の管理運営などを通じて、地域住民や商店街等と連携しながら金山地域のまちづくりに深くかかわってきました。

今後、公社はこれまで培ったまちづくり事業のノウハウを活かし、さらに金山駅の南北一体となったまちづくりを推進していく必要があると考えています。

この「金山まちづくりビジョン」は、地域の意向を反映し、地域と連携して公社が推進する、金山地域まちづくりの将来ビジョンを示すものです。



※上記区域を原則としますが、取組内容や活動主体のまとまり等必要に応じて対象範囲は柔軟に取扱います。

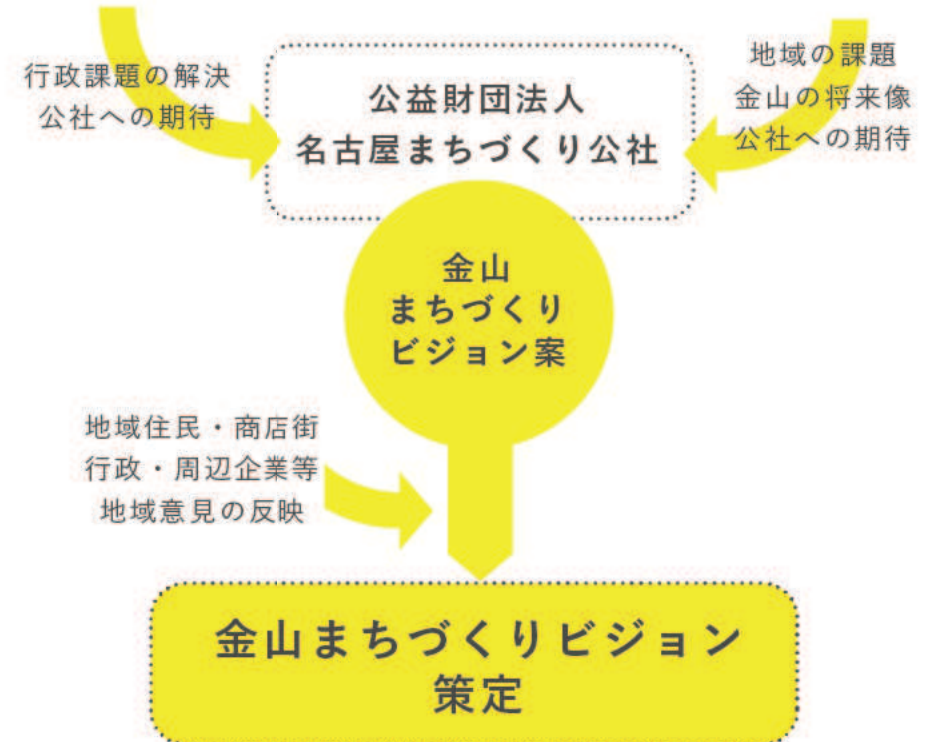
## 「金山まちづくりビジョン」の検討経緯

- 2017  
3月 名古屋市  
「金山駅周辺まちづくり構想」策定  
・地域主体によるまちづくりの位置づけ
- 2020  
|  
2021 地域ヒアリングによる地域課題の把握  
・駅周辺の学区連絡協議会  
・商店街連合会  
・鉄道等交通事業者  
・周辺企業、団体等
- 11月 ビジョン案の提案と意見反映  
・地域住民（周辺学区）  
・商店街（金山橋連合商店街、金山商店街）  
・行政（名古屋市まちづくり企画課、等）  
・周辺企業、団体等
- 2022  
1月 「金山まちづくりビジョン」策定

まちづくり構想/  
行政との連携・協力

地域ヒアリング

- ・駅周辺の学区連協
- ・鉄道等交通事業者
- ・商店街連合会
- ・周辺立地企業



## 2 / 金山地域の現況と課題

- ・現況分析
- ・まちづくりにおける金山地域の課題等



- 金山地域は熱田台地の中央に位置し、江戸期には東海道の脇街道として栄えた佐屋路と美濃路の分岐点（旧古渡村）を擁する交通の要所がありました。
- 明治になり熱田台地のくびれ部分を掘割って東海道線・中央線が通り、後に名鉄線が開通しました。
- 1907年の名古屋市・熱田町合併以降、区制の編入再編を経て、現在の中区・熱田区にまたがった金山地域が形成されました。

### 近代以降の主な経緯

- 1889年 東海道本線全通
- 1889年 名古屋市制施行
- 1900年 中央線（名古屋-多治見間）開業
- 1907年 名古屋市・熱田町合併
- 1908年 東・西・南・中の4区制開始
- 1937年 中区・熱田区を含む10区制に移行
- 1944年 名鉄金山橋駅開業（現金山総合駅の南東）
- 1950年 金山体育館完成
- 1962年 中央線金山駅開業
- 1967年 名城線金山駅開業
- 1972年 名古屋市市民会館完成（旧金山体育館跡地）
- 1989年 金山総合駅開業（連絡橋設置）
- 1999年 金山南ビル完成
- 2005年 アスナル金山オープン

### ▼ 尾張の主要街道



出典) 名古屋市西区役所「美濃路まち歩きマップ」

### ▼ 金山の地形と鉄道路



出典) 国土地理院HP

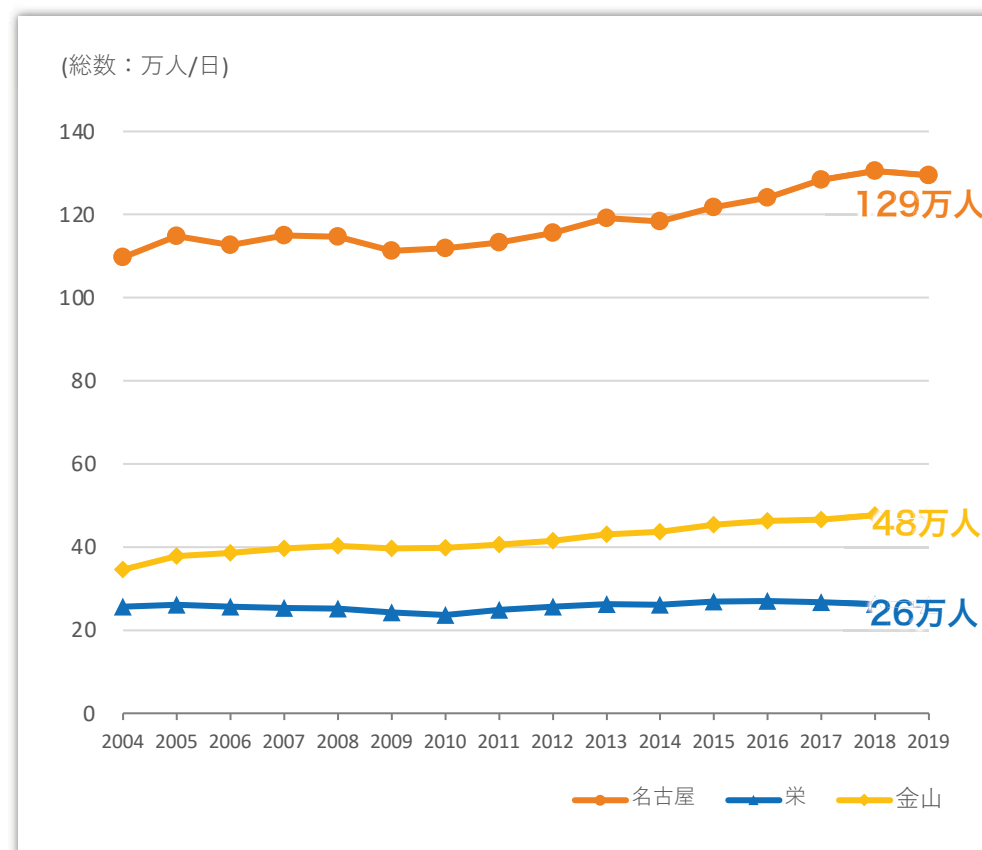
- 金山地域は名古屋都心ゾーンに位置しており、名古屋駅及び栄駅に接続しています。
- 金山総合駅は、JR線、名鉄線、市営地下鉄が乗り入れ、1日あたりの乗降人数は約48万人と、総合的な交通結節点です。

### ▼ 金山総合駅の立地



出典) 愛知県資料を加工

### ▼ 1日当たりの乗降人員の推移



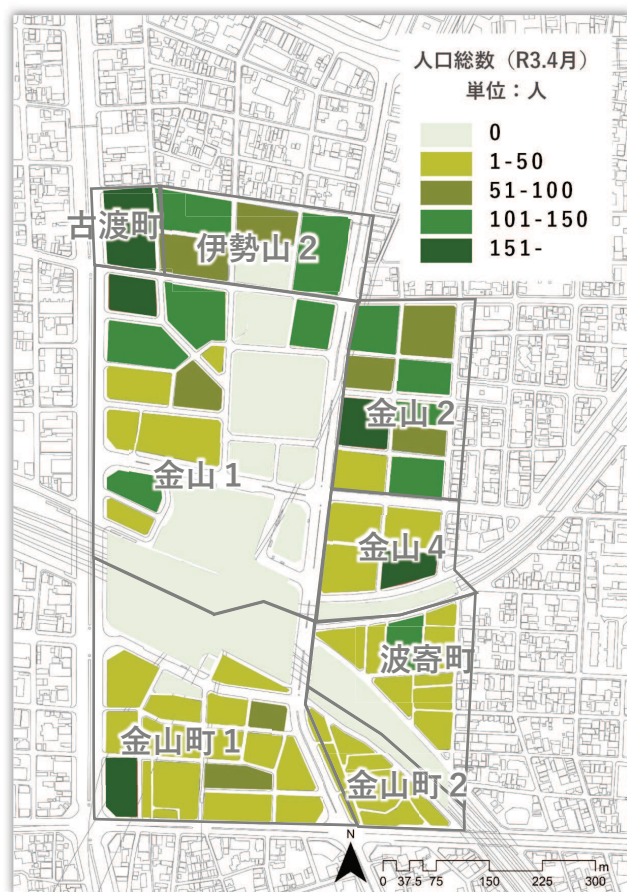
出典) 名古屋市統計年鑑

注) 乗降人数は各公表資料の乗車人数の2倍として算出栄には栄町駅も含む

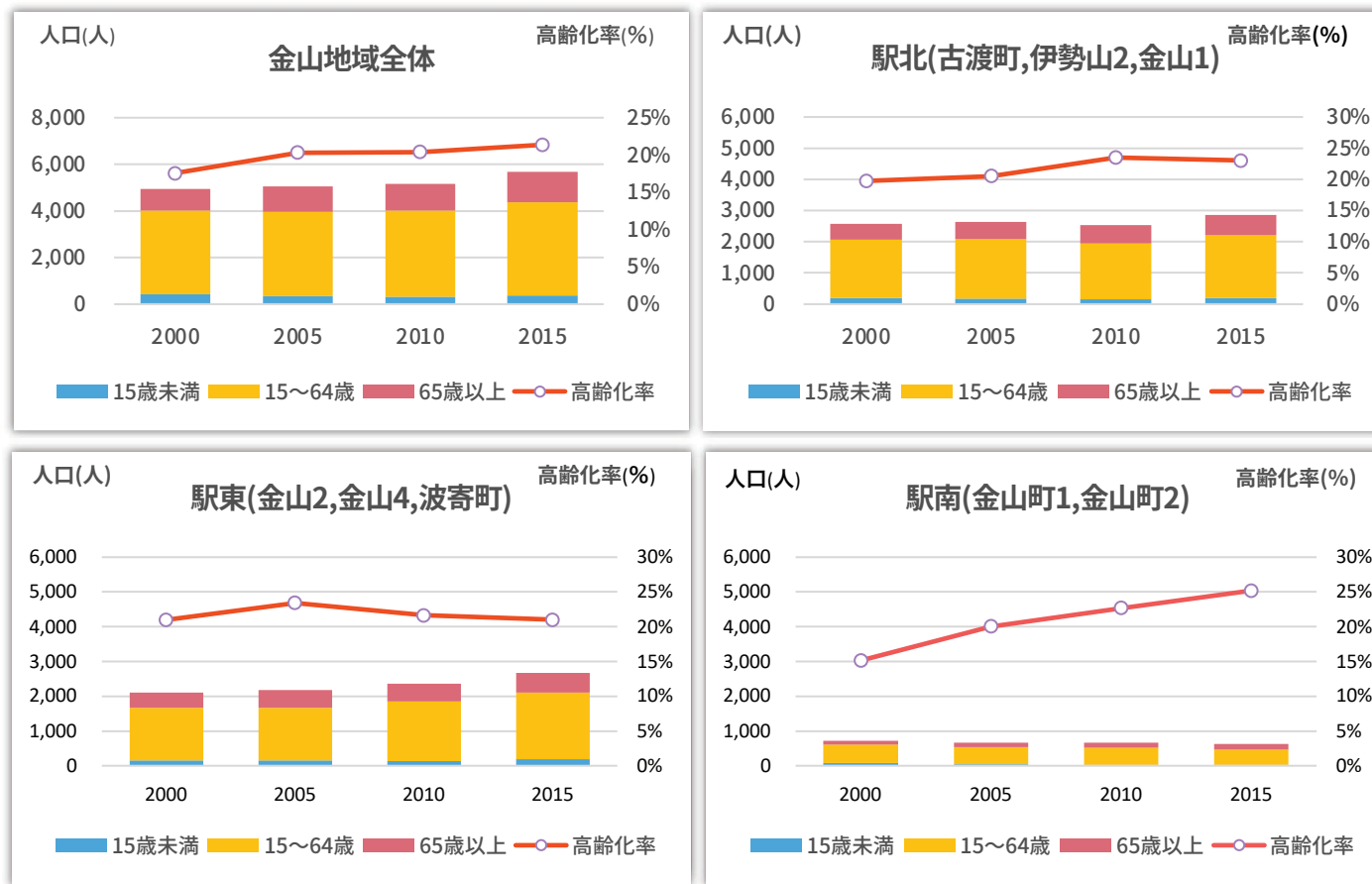


- 金山地域の人口は、全体で約5,600人であり、年々増加傾向にあります。
- 人口分布をみると、駅北や駅東にマンションの立地が増えており、人口が増加しています。

### ▼人口分布（街区別）

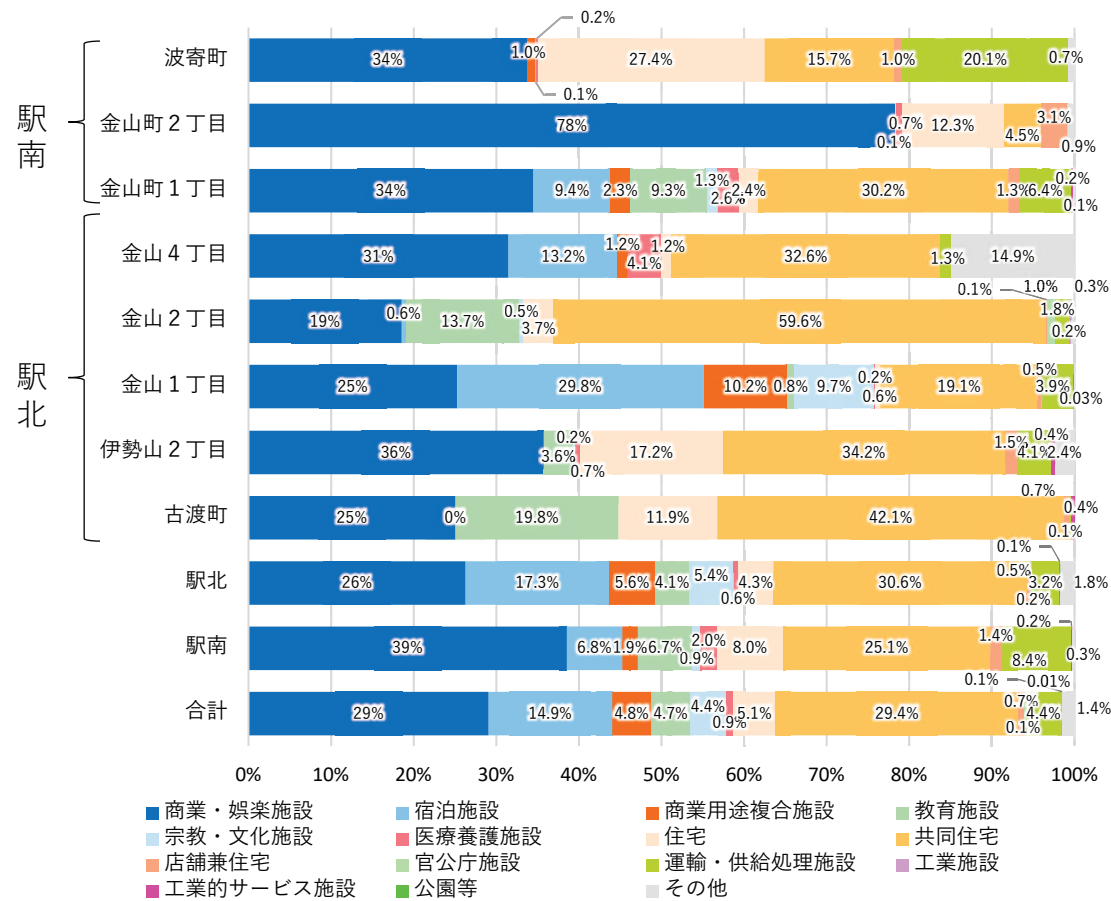


### ▼人口変化・構成



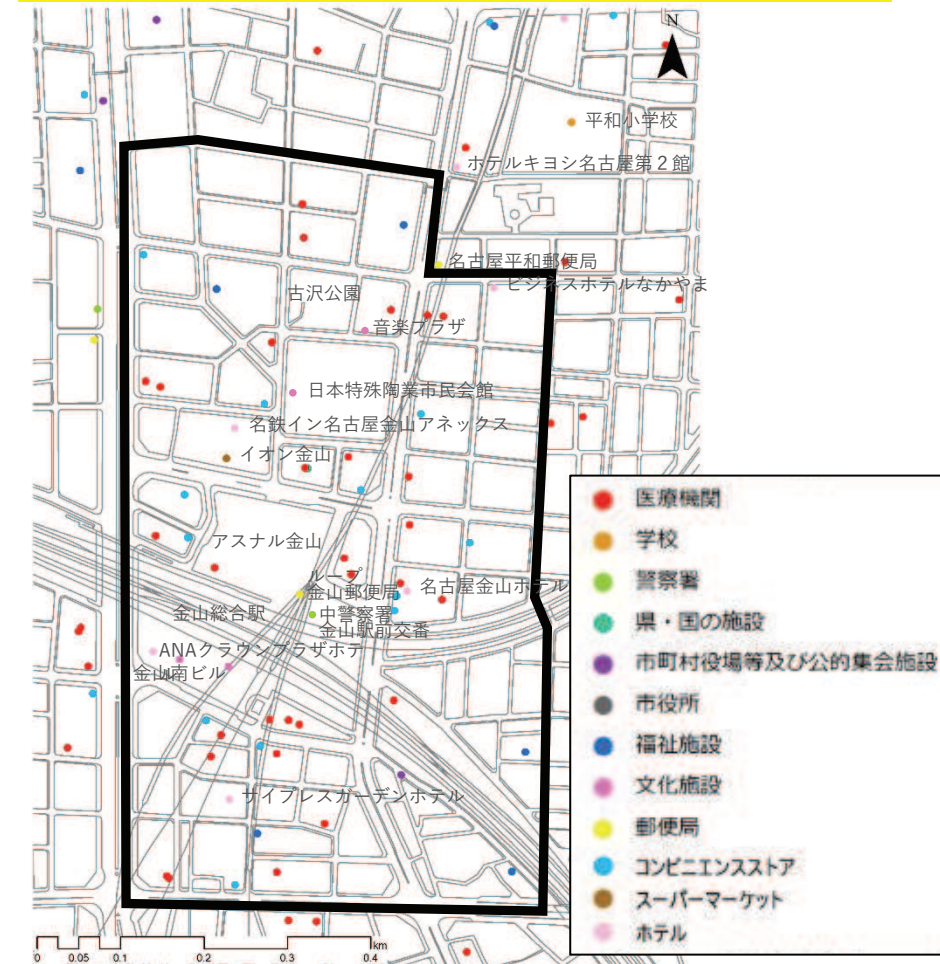
- 共同住宅、商業・娯楽施設、宿泊施設など、多様な建物用途がみられます。
- 駅周辺にはアスナル金山、市民会館、音楽プラザ等の文化・商業拠点が立地しているだけでなく、医療機関や学校、公園、コンビニなどの生活施設も充実しています。

### ▼ 建物用途構成（延床面積）



出典) H28名古屋市都市計画基礎調査建物用途別現況調査

### ▼ 生活施設の立地状況

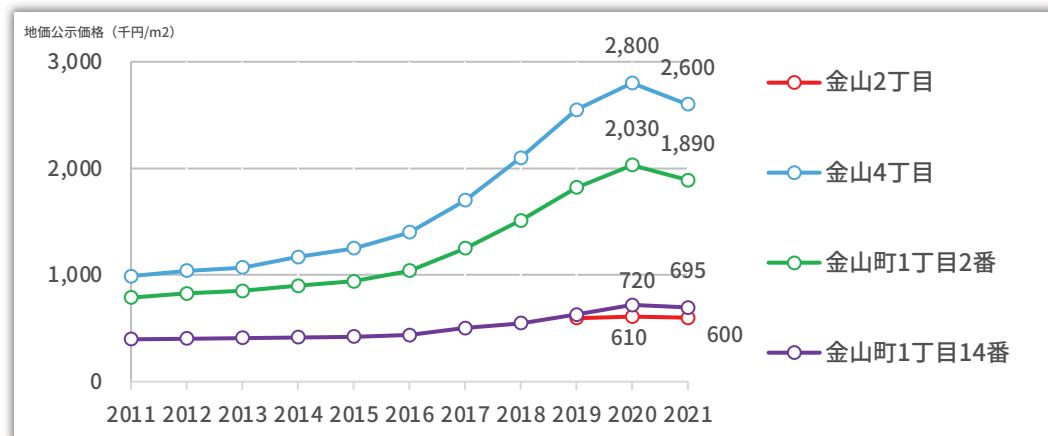


出典) 国土数値情報、OpenStreetMap



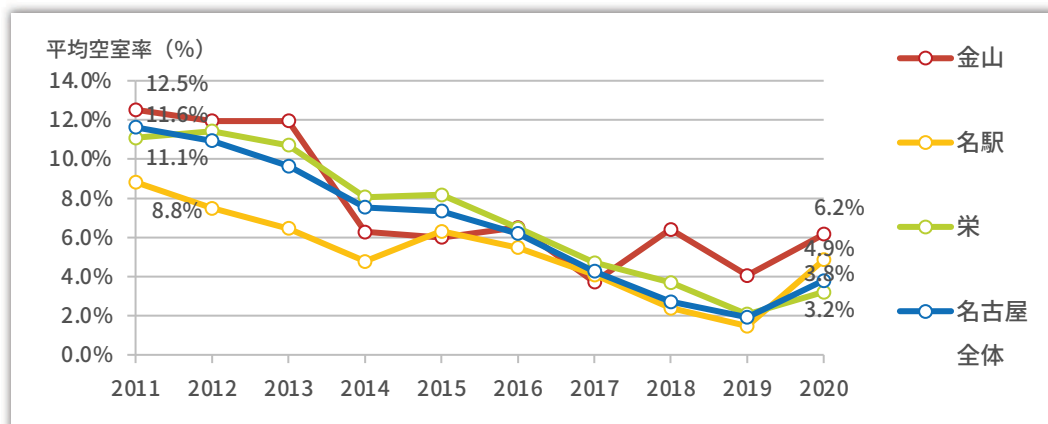
- 地価公示価格は、いずれの地点でも2020年にかけて増加傾向にあり、2021年は減少しています。
- 平均空室率は、2017年までは他の都心地区と同等でしたが、2018年以降はやや増加しています。
- 新築マンションやビジネスホテルの開発が進行しています。

### ▼ 地価公示価格



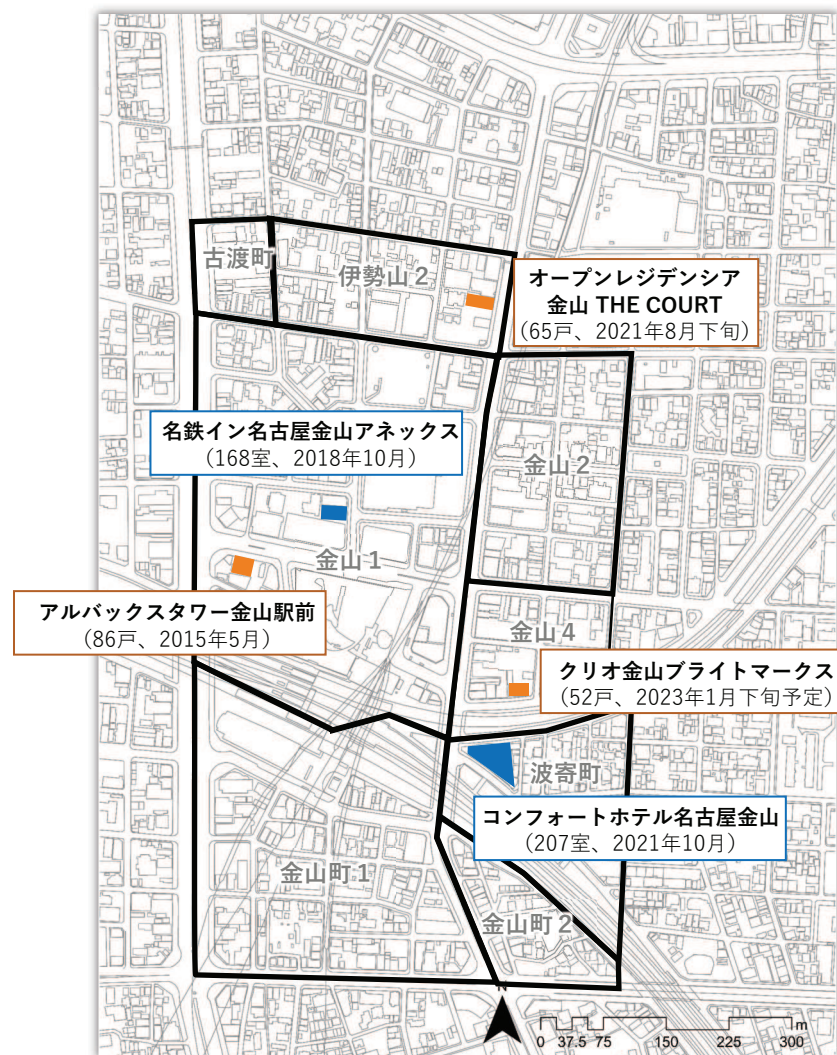
出典) 名古屋市の地価公示 (国土交通省調査)

### ▼ 平均空室率の推移



出典) オフィスレポート名古屋2021 (三鬼商事株式会社)

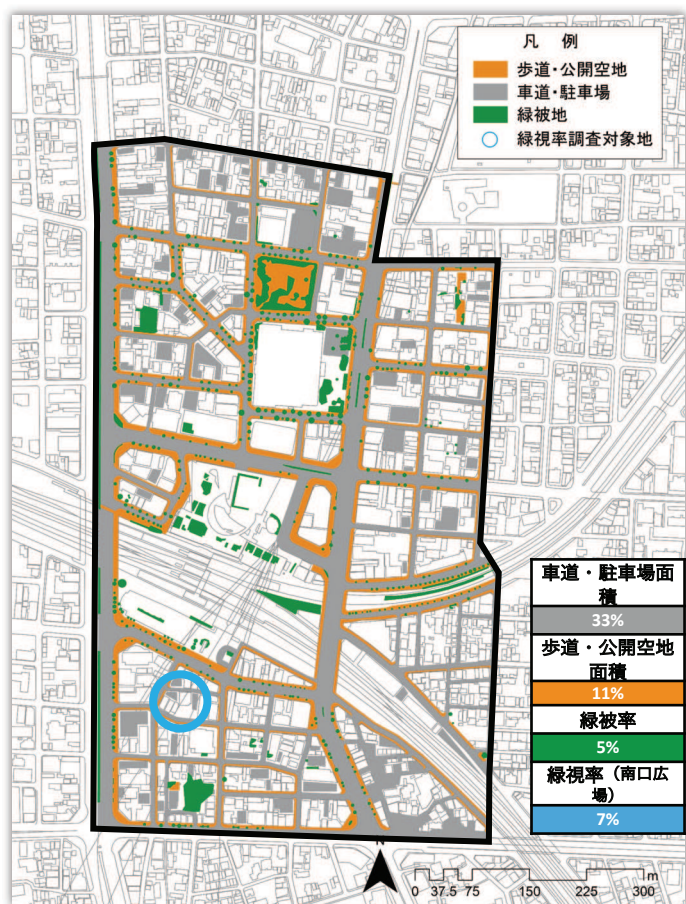
### ▼ 周辺の開発状況





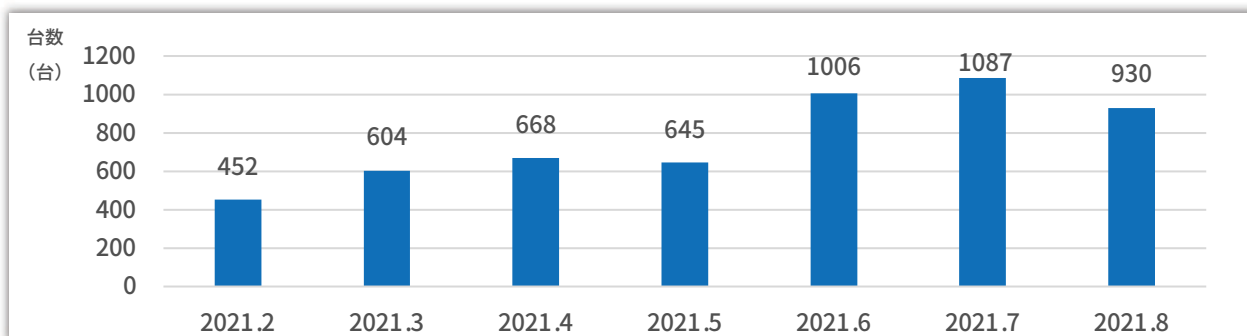
- 公共空間のうち、車道・駐車場の面積が33%、歩道・公開空地の面積が11%で、歩行者のための空間が少ないです。また、緑被率は5%で、地域内の緑が少ないです。
- まちの回遊性向上を目的として、金山駅南口に公共のシェアサイクルステーション（名古屋市が社会実験として実施）が設置され、利用は増加傾向にあります。
- 市内のシェアサイクルは、買い物や観光で多く利用されています。

### ▼ 公共空間の比率

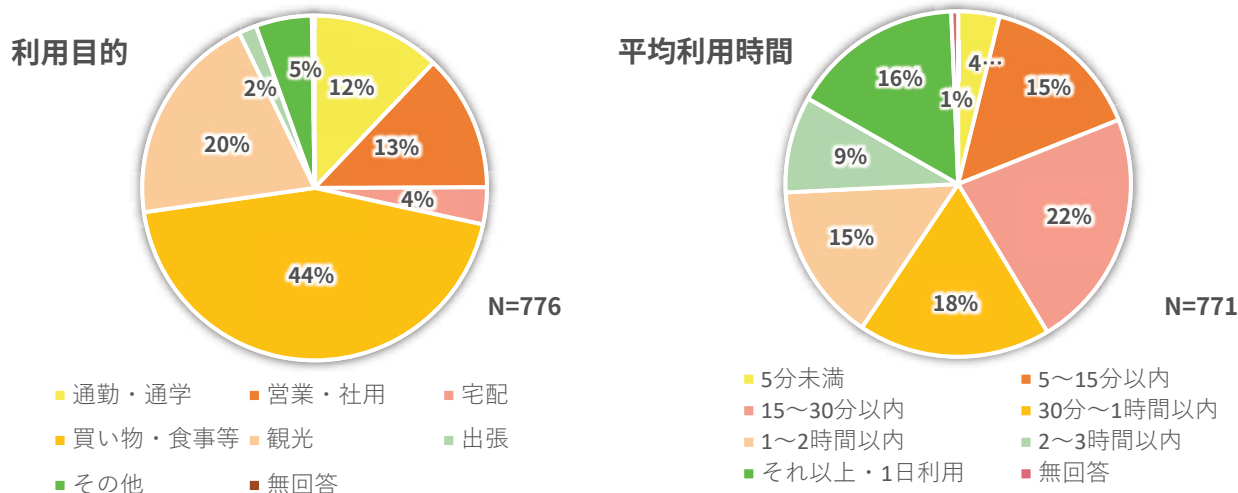


出典）H29名古屋都市計画基礎調査土地利用計量調査、R2名古屋市の緑の現況調査（緑被地GISデータ、緑視率）

### ▼ 金山駅南口ステーションのシェアサイクル利用実績（発着数）



### ▼ シェアサイクルの利用目的と平均利用時間

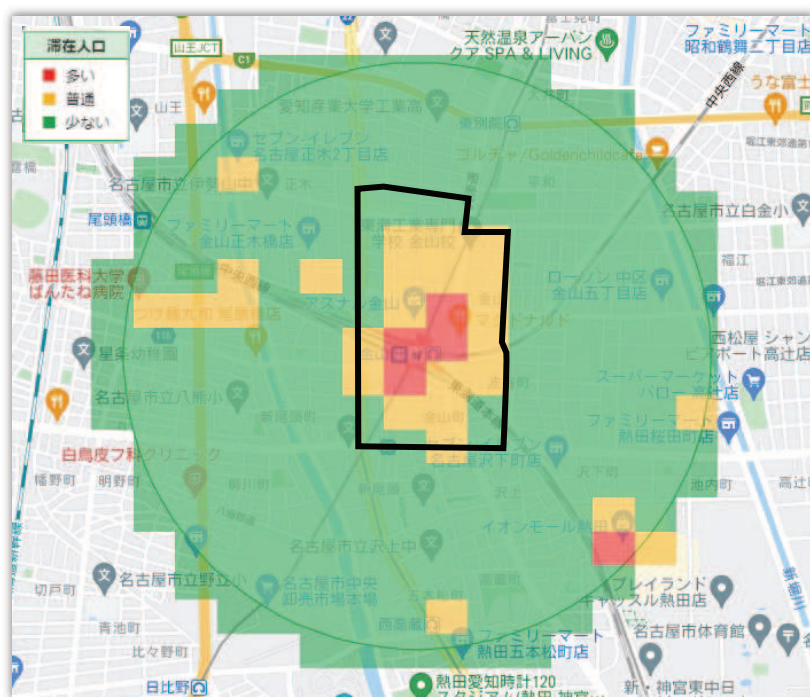


出典）シェアサイクルについてのアンケート調査(令和3年1月)（名古屋市）

- 対象地の1時間以上の滞在人口は1日平均2.0~3.0万人\*で、駅周辺から大津通にかけての滞在が多いです。
- 複数の滞在地点間の歩行者流動（周遊OD）をみると、平休日ともに駅周辺と大津通沿道の流動が多くみられます。
- 駅南北を跨ぐ歩行者流動が少なく、駅南北の一体的な回遊性が弱いです。

\*20歳以上の推定値

### ▼ 1時間以上の滞在人口（2019年）



出典) KDDI Location Analyzer 2019年平均（1月を除く）  
20歳以上の人のうち、60分以上滞在した人を推定

### ▼ 周遊OD（2019年10月）（100mメッシュ）

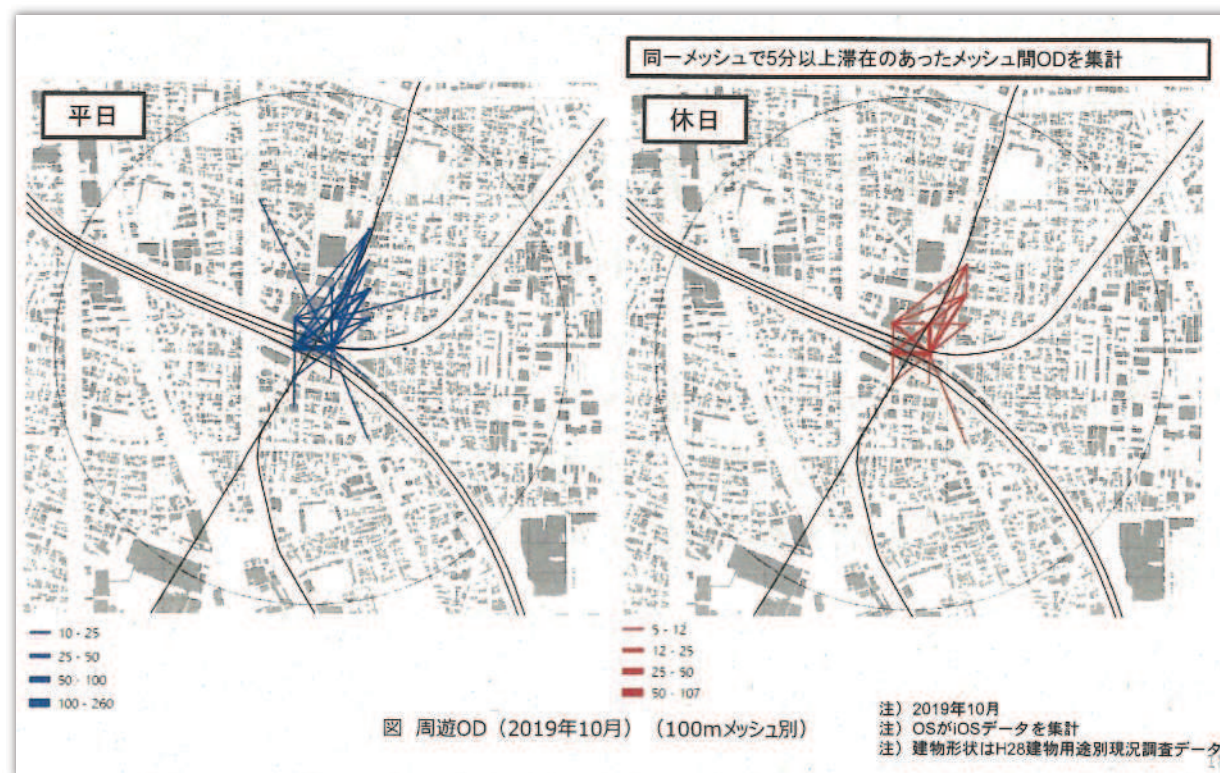


図 周遊OD（2019年10月）（100mメッシュ別）

注) 2019年10月  
注) OSがiOSデータを集計  
注) 建物形状はH28建物用途別現況調査データ

出典) 株式会社Agoop（ポイント型流動人口データ）、  
第3回まちづくりに資するデータ利活用研究会～ウォーカブルなスマートシティなごやを目指して～



- 過去5年間に死亡事故1件、重傷事故5件が発生し、交通事故の危険性が高い地区です。
- 大雨による内水氾濫のリスクが、金山駅の線路部で想定されています。
- 地震による液状化のリスクは、駅北部や南部で発生の可能性が高く、駅東部では低いです。

### ▼ 交通事故発生状況 (2016~2020年)



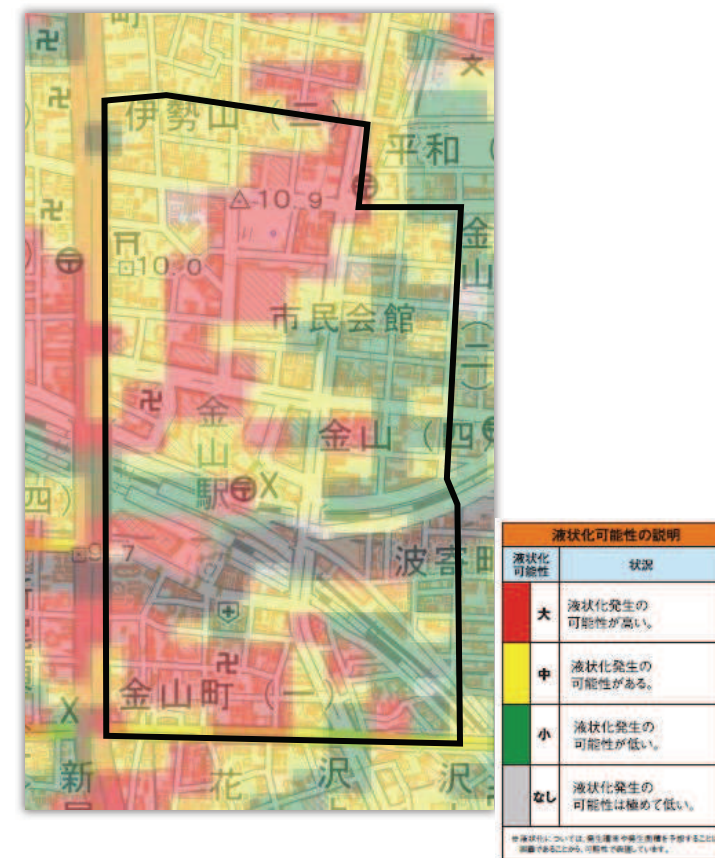
出典) 愛知県警察 安心・安全マップ

### ▼ 内水氾濫による浸水域



出典) 名古屋市 あなたの街の洪水・内水ハザードマップ

### ▼ 液状化の可能性

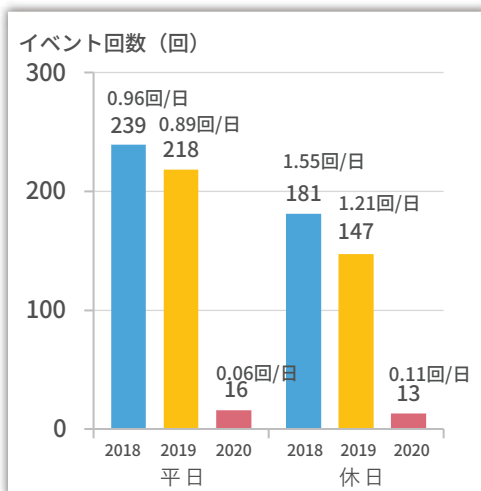


出典) ハザードマップ提供：名古屋市、コンテンツ作成：ナカシャククリエイティブ(株)

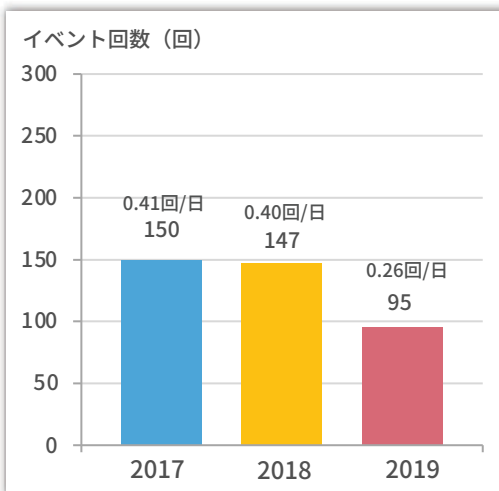
- ・アスナル金山、連絡通路橋では、平休日ともにイベントが多く行われています（2020年は新型コロナの影響で大きく減少）。
- ・アスナル金山では、ほぼ毎日何らかのイベントが実施され、中でも音楽関連のイベントが多いです。
- ・連絡通路橋でも多数のイベントが開催されており、行政による物産や情報発信が多いです。

### ▼ イベント開催回数

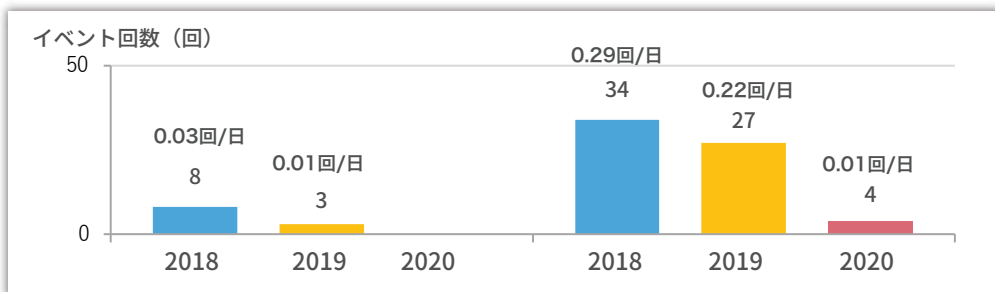
アスナル金山



連絡橋

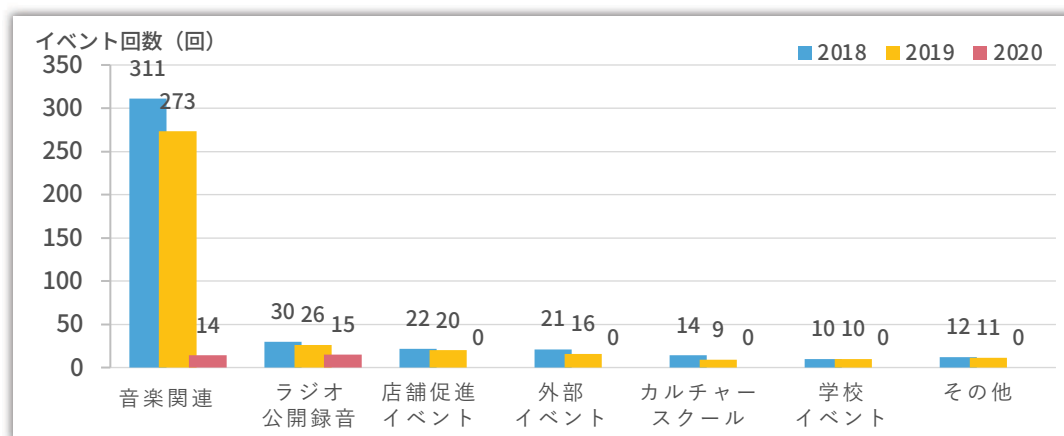


金山地区商店街

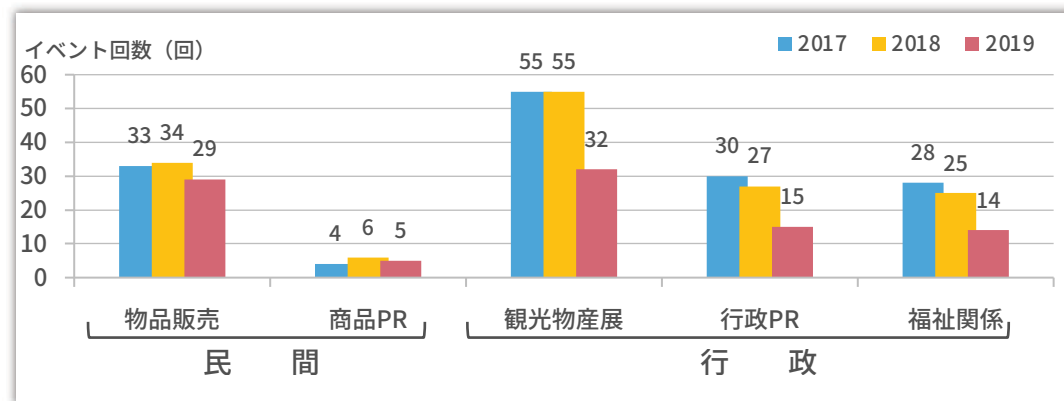


### ▼ イベント内容

アスナル金山



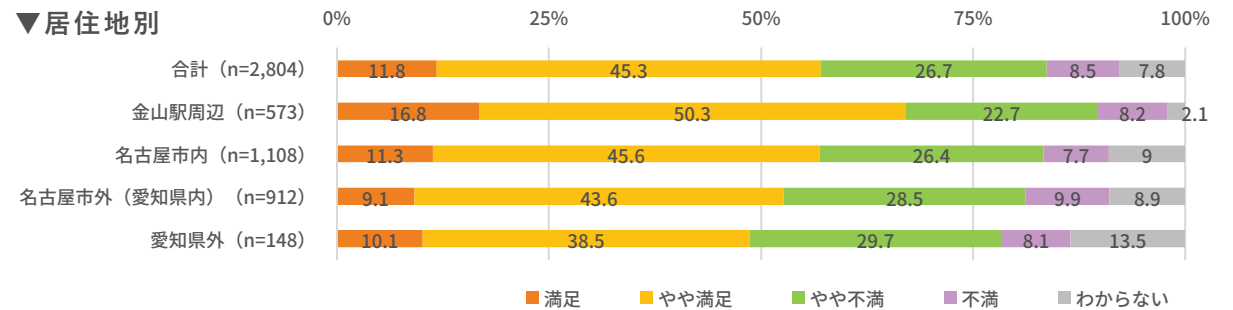
連絡橋



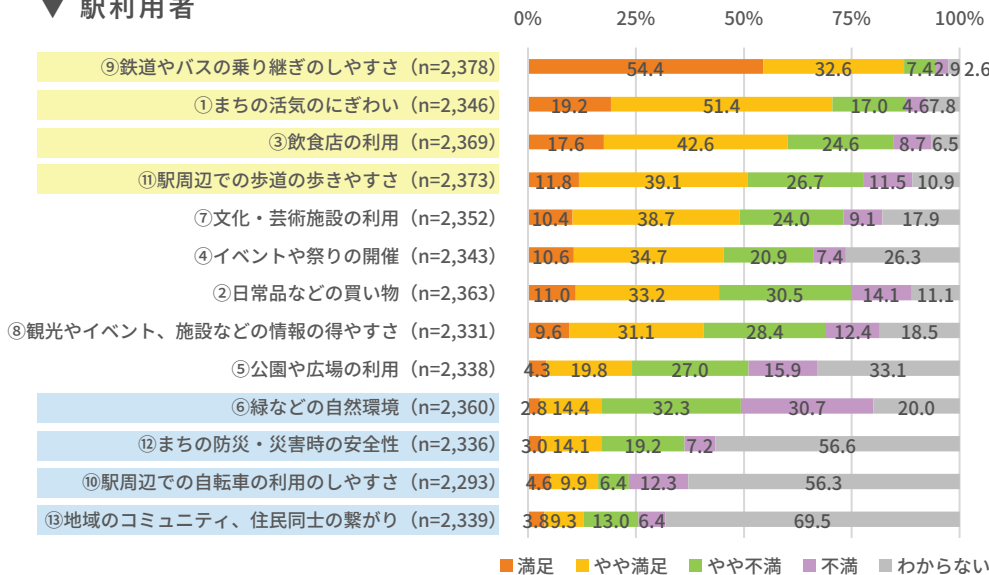
出典）名古屋まちづくり公社提供資料 注）各カテゴリーの平均開催回数（年平均）を記載

- 利用者による金山地域への満足度は、金山駅周辺に住む人の約7割が満足、またはやや満足と答えていますが、愛知県外に住む人では約5割となっています。
- 金山地域に満足している理由は、駅利用者、居住者・事業者ともに共通しており、公共交通や飲食店、日用品店など利便性の良さやまちの活気が挙げられています。一方、緑などの自然環境や、災害時の安全性、地域コミュニティの繋がりの満足度が低いです。

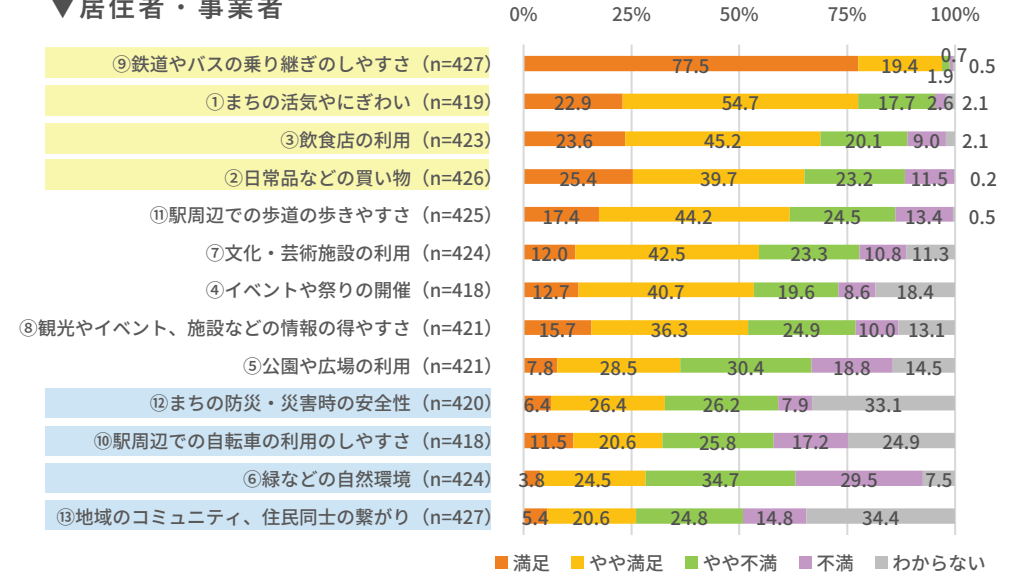
### 金山地区の満足度



### ▼駅利用者



### ▼居住者・事業者





名古屋市が2017年3月に策定した「金山駅周辺まちづくり構想」の概要は以下の通りです。

### 【コンセプト】

#### 交通拠点から交流拠点へ

～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～

### 【基本方針】

#### にぎわいとうるおいの継承・発展

- ①都市機能の集積
- ②商業機能等の再編
- ③金山地域内外の回遊性の向上

#### 文化芸術や創造等拠点の集客性向上

- ①市民会館の機能更新
- ②まちかどからの文化・芸術の発信
- ③金山南ビルの活用

#### 地域防災力の強化

- ①安全確保施設の充実
- ②防災意識の向上
- ③広域避難場所の活用

#### 交通結節点の機能強化

- ①乗り継ぎ利便性の確保
- ②情報発信機能の充実
- ③来街者向けサービスの提供

### ▼ 将来イメージ

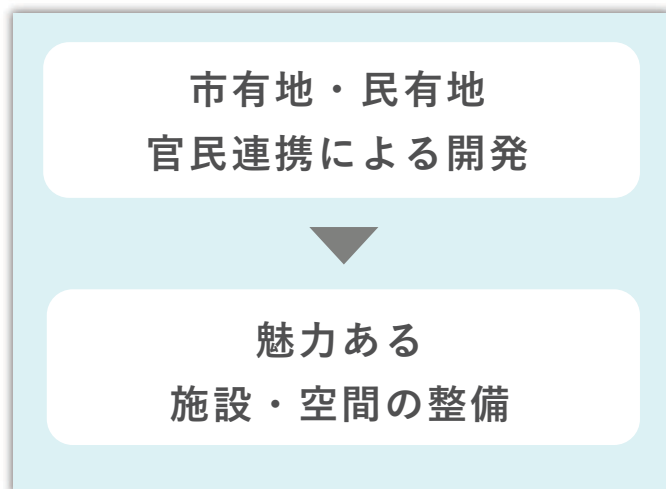


出典) 名古屋市：金山駅周辺まちづくり構想 (pp.35-36,60)

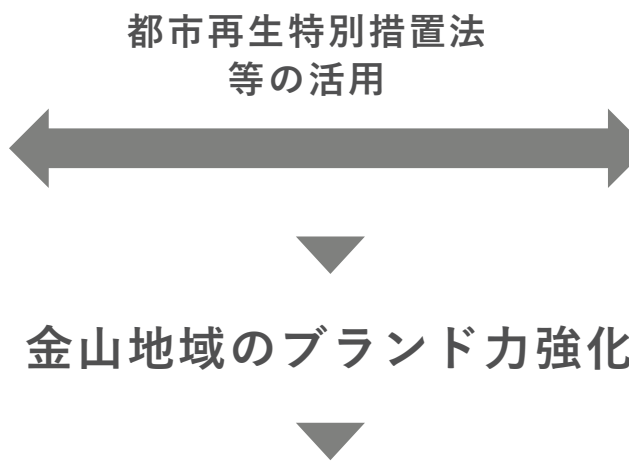
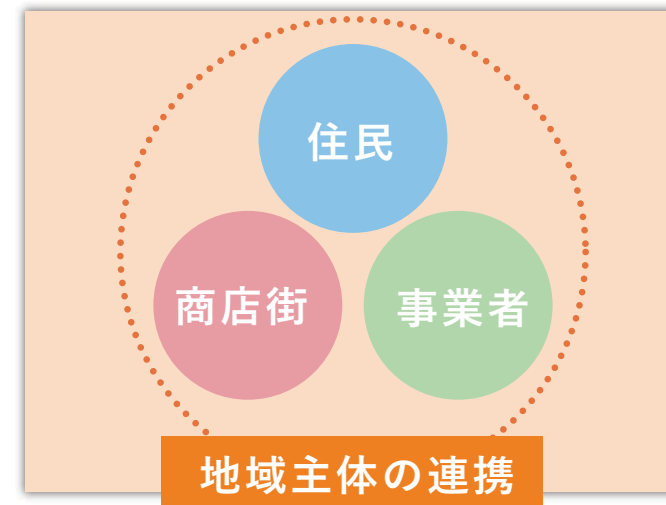
### 【地域主体によるまちづくり】

- 構想では、開発によるハード整備だけでなく、各種ソフト面の取り組みと一体的に都市の魅力向上に努めることが求められています。
- それらの活動を持続的に行うため、地域の多様な主体が一体となり、ソフト面の活動に取り組むことを掲げています。
- さらに、将来的には、都市再生特別措置法に基づく、都市再生整備計画※、都市利便増進協定※、都市再生推進法人※などの枠組みを活用し、地域のブランド力強化を図ることが目標とされています。

### 【ハード】官民連携



### 【ソフト】地域主体



## 金山駅周辺まちづくり構想の実現

注) 名古屋市「金山駅周辺まちづくり構想」を基に作成 ※) 巻末(参考)参照

### 暮らす人 住民の声

金山駅周辺地域の住民組織（学区連絡協議会）、商店街組合、民間企業・商業施設、文化団体等にヒアリングを行い、様々な声をうかがいました。

#### 地域の分断

- 同じ駅前でも駅の南北では行政区も違うし、間に線路があって、駅南北での繋がりは薄い。
- 清掃や防犯等の活動が、住民と事業者、区域などでバラバラに行われ、効率が悪く、一体感も薄い。
- 行政区の違いや複雑さ、行政窓口の縦割りなどで、様々な取組みに際して非常に手間がかかる。
- イベントなど地域の情報が十分に共有されておらず、誰がいつ何をやるのか知らないことも多い。
- 駅前のイベントは来訪者向けのもが多く、周辺住民との関わりが薄い。
- 若い世代や新しい人たちにとっては地域とのつながりが薄くきっかけも少ない。

#### 駅前の景観やゴミ

- 飲食店や集合住宅のゴミ出しルールが守られず、不法投棄されたりして、駅前景観が汚い印象。
- 清掃や防犯等の活動が、住民と事業者、区域などでバラバラに行われ、効率が悪く、一体感も薄い。
- 違法駐輪が多く雑然としている

#### 治安や夜の安全

- 線路沿いや裏道は夜は暗く、人通りも少ない雰囲気です怖い感じがする。

#### 交通

- 駅前に使いやすい駐輪場がない。
- 駅前に周辺店舗への荷捌車両や一般の路上駐車がいつも停車して、交通の支障になり混雑や危険のもとになっている。
- ベビーカーや高齢者も安心して歩けるバリアフリーな歩行空間になると良い。
- 駅前広場や近隣に違法駐輪が多くて歩きにくい。

#### 住環境

- 駅前は来訪者向けのイベントが多く、喧騒が気になる。
- 緑や広場、滞留スペースが少なく、心地良く歩ける環境や場所がない。



### 企業や店舗で働く人の声

#### 地域の分断

- 駅の南北間に線路があって、南北での連携や一体となった取り組みがしづらい。
- 行政区の違いや複雑さ、行政窓口の縦割りなどで、様々な取組みに際して非常に手間がかかる。

#### 音楽や文化などの魅力発信

- 市民会館や音楽プラザ、旧ボストン美術館があるのに、駅前に文化的イメージを感じない。
- せっかくある音楽や文化などのコンテンツを上手く使った賑わいづくりができていない。
- 駅前の魅力を発信するツールが少なく、地域の魅力を発信しきれていない。

#### 駅前の景観やゴミ

- 金山駅前は、汚い・うるさい・危ない、品がない、というイメージが昔からあって払拭したい。
- 駅前の雑多な景観やゴミは地区のイメージを悪くしている。
- 駅前広場の路上宴会や飲食店の客引きがいて印象が悪い。タバコのポイ捨てもあり、地区全体のイメージを落としている。

#### 駅前の景観や治安や夜の安全

- 線路沿いなどは暗く、人通りも少ないので、帰りが遅いときは怖い感じがする。

#### 企業や学校の地域貢献

- 企業や学校の地域貢献あ・地域清掃、防災活動、環境問題など、機会があれば企業の特徴を活かして地域貢献をする意向はある。
- 学生が活躍できる場が地域にあれば積極的に協力していきたい。

#### 交通

- JR東海道線・中央線、名鉄本線も通り、電車の本数が多く交通の便が良かったため満足している。
- 金山駅は交通結節点として利便性が高く利用客が多いが、連絡通路橋構内の案内サインが不十分。
- 金山駅は観光拠点へのアクセスが良く利用客が多いが、連絡通路橋構内に観光案内などの情報が少ない。

#### 滞留スペース

- 公園や広場などゆったりできるスペースが駅前にない。

#### 災害等への備え

- 通勤時や電車が止まった際には連絡通路橋構内や駅周辺の歩道が大混雑する。
- 帰宅困難者の受け入れ先など災害時の備えが心配だ。

### 訪れる人 駅利用者の声

#### 地域の回遊や滞留スペース

- 居心地よく滞留できるような広場やお店がない。
- 駅から市民会館へのアクセスが複雑で分かりにくい。階段も多く高齢者や障がい者に不親切。
- 駅前の歩行空間に段差や高低差が多く、もっとバリアフリーなまちにしてほしい。
- 熱田神宮、国際会議場、堀川は近いが、金山から行きやすい感じはない。

#### 街のイメージ

- 金山の街のイメージが捉えにくい。なんとなく暗い印象がある。
- 金山駅で降りて、お店など行くところが思いつかない。

#### 駅前の景観やゴミ

- 駅前広場が狭くて、建物がゴチャゴチャした印象がある。
- 駅前広場や近隣に違法駐輪が目立ち、まちが雑然としている。
- 宿泊する際に、駅前ライブなどが騒がしく感じる。
- 駅前広場の路上宴会や飲食店の客引きがいて印象が悪い。タバコのポイ捨てもあり、地区全体のイメージを落としている。

#### 治安や夜の安全

- 客引きや酔っ払いなど、駅前のガラが悪い感じがする。
- 夜は暗く変な人に声をかけられそうで怖い。

#### 交通

- JR東海道線・中央線、名鉄本線も通り、電車の本数が多く交通の便が良かったため満足している。
- 連絡通路橋構内の案内サインが不十分で乗継ぎがわかりにくい。
- 連絡通路橋構内に観光情報が少なく、周辺観光拠点への周遊が不便。

#### 災害等への備え

- 金山乗り換えで電車が止まったときなど、駅に人が溢れてしまう心配がある。
- 大規模災害などの帰宅困難時にどうすれば良いかわからない。

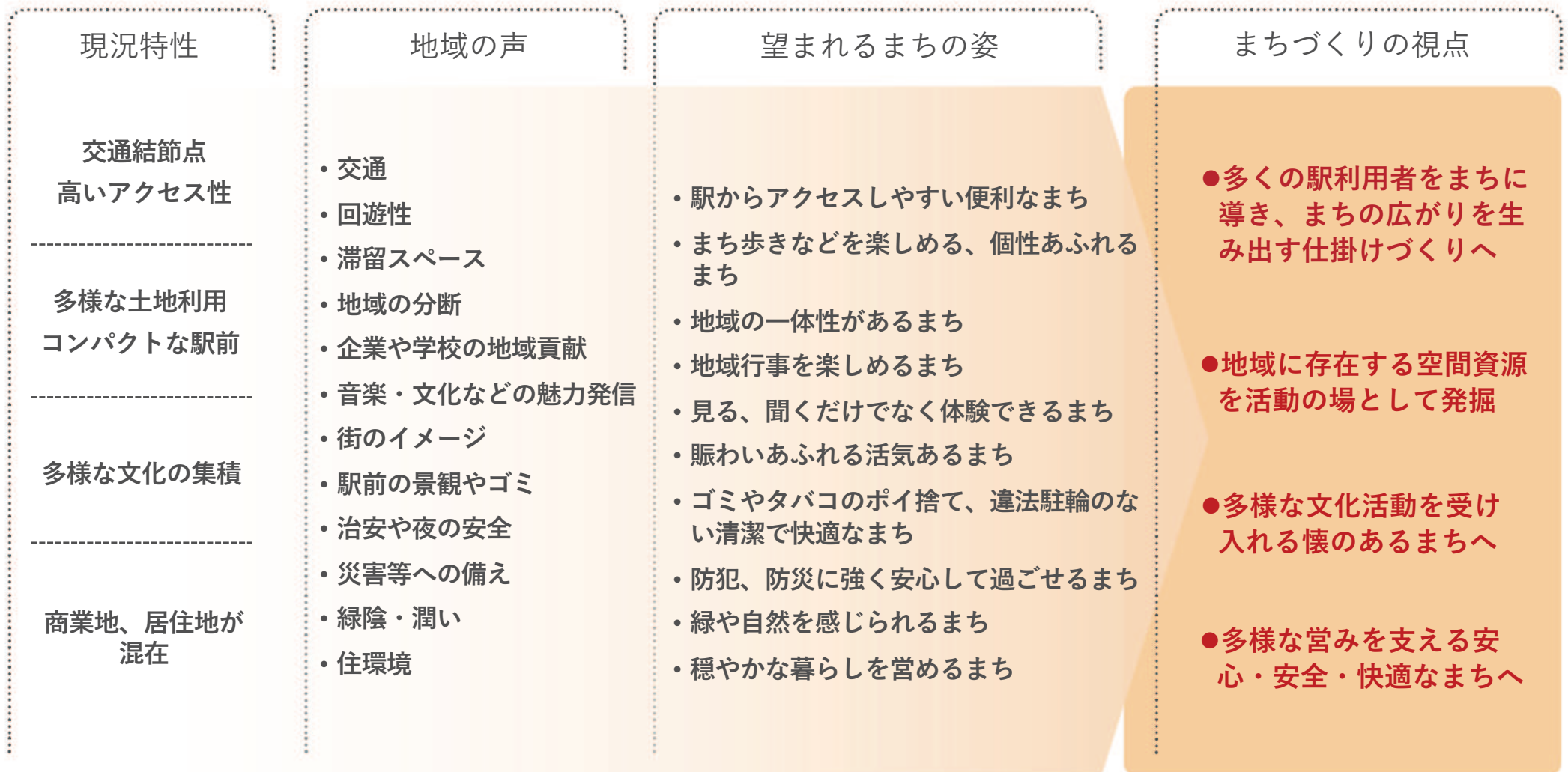
#### 緑陰・潤い

- 緑や自然環境、緑陰が少なく、潤いが感じられない。

# 3 / 金山の未来と公社の役割

- ・ 金山の将来像
- ・ まちづくりの方向性
- ・ 金山まちづくりのビジョン
- ・ 『Playable KANAYAMA』イメージ
- ・ 公社の役割

以上の金山地域の現況特性や、地域に関わりのある方々の声を整理すると、居住者、通勤・通学者、来訪者など様々な人々がそれぞれの目的・思いを持って金山のまちで活動されていることがわかりました。こうした多様性を金山の特長と捉え、各々の活動を受け入れ・認め合いながら金山の価値を高めるべく将来のまちの姿を考える必要があります。





金山地域は、様々な人が行き交う交通の利便性を生かして、駅周辺に様々な都市機能や文化活動を内包した都心を形成してきました。一方で、駅前繁華街と周辺住宅街が近接して地域コミュニティが存在する職住混在の都心地域の特徴も有しており、金山地域には多様な主体による多様な期待や希望にあふれています。

私たちは、金山地域のこうした多様性を地域の活力として捉え、金山地域に住む人、働く人、訪れる人の誰もがそれぞれの個性を活かしながら豊かで快適に過ごせるまちを目指します。

そのためには、まち全体が一定のルールと秩序を持つことで、誰もが気軽にそれぞれの思いを表現できる環境でなければなりません。

“Playable”には、遊べる、演奏できる、といった一般的な意味だけでなく、その地域での暮らしを含めた日常の様々な営みが“できる”という想いを込めています。金山地域に関わる様々な人びとが、“Playable”なまちを目指して連携・協働し、一人ひとりが皆主役となる暮らしの舞台をまち全体でつくっていきたいと考えています。



以下の4つの視点にそって、まちづくりに取り組んでいきます。

### まちづくりの視点

多くの駅利用者をまちに導き、まちの広がりを生み出す仕掛けづくりへ



心地よく  
回遊できる  
まち

地域に存在する空間資源を活動の場として発掘



チャレンジ  
できる  
まち

多様な文化活動を受け入れる懐のあるまちへ



多様な文化に  
触れられる  
まち

多様な営みを支える安心・安全・快適なまちへ



安心して  
過ごせる  
まち

### まちづくりの方向性

01

#### 心地よく回遊できるまちづくり

多くの人が行き交う駅と街をつないで、街に魅力と賑わいをもたらす、回遊性のあるまちづくりを進めます。

02

#### 多様な空間を活かして チャレンジできるまちづくり

連絡通路橋や駅前広場、道路や公園といった公共空間および各施設空間の活用により、様々な表現や発信などチャレンジができるまちづくりを進めます。

03

#### 多様な文化に触れられるまちづくり

市民会館や音楽プラザなどのハイカルチャーな文化から、アスナル金山や街角ライブで繰り広げられるストリートカルチャーまで、多様で層の厚い文化を育むまちづくりを進めます。

04

#### 都心で便利に安心して過ごせるまちづくり

駅前の繁華街と後背の住宅地が近接する金山地域は、都心でありながら住む人や来訪者が便利で安心して過ごすことができる都心まちづくりを進めます。

### 01

#### 心地よく回遊できる まちづくり

多くの人が行き交う駅と街をつないで、街に魅力と賑わいをもたらす、回遊性のあるまちづくりを進めます。

##### ・ 金山のイメージを形成する駅南北の一体的な活用

改札を出た連絡通路橋の空間から北口や南口の駅前広場において、イベント等活動主体相互の連携を促進するなど、街の魅力を感じる一体的な利活用による金山地域のイメージ形成を図ります。

##### ・ 駅前から街へと誘う演出とウォークアブルなストリートの活用

駅からまちなかへ人々を誘うため、施設所有者等との協議の上、サイン・広告やベンチなどのデザインに配慮し、駅前や地域のストリートでのテラスやキッチンカーの活用促進など、楽しく快適に移動・滞在ができるウォークアブルな空間づくりを推進します。

##### ・ 地域内回遊の向上と南北連携の促進

シンボル軸や賑わい軸をはじめとした地域の道路・公園等の公共空間を活用して、地域情報と移動手段を連携させることなどによりまちの賑わいや回遊性の向上と地域（南北）連携を促進します。

##### ・ 周辺拠点への移動しやすさと連携まちづくり

熱田神宮、国際会議場、東別院などの周辺施設へのアクセスを高めるため、玄関口としてふさわしいサインや情報発信機能を充実させ、交通事業者と連携した取組みやシェアサイクルなど多様な移動手段の利用促進を図ります。



シェアサイクルやまちマップ情報発信による回遊のイメージ



オープンカフェなど様々な滞留空間があるまちなかのイメージ



### 02

#### 多様な空間を活かして チャレンジできるまちづくり

連絡通路橋や駅前広場、道路や公園といった公共空間および各施設空間の活用により、様々な表現や発信などチャレンジができるまちづくりを進めます。

##### ・駅前公共空間での魅力発信ができるまち

連絡通路橋や南北駅前広場をはじめ地域内の道路空間や公園などの公共空間を地域資源と捉え、地域理解のもと様々な活動主体による魅力発信ができるよう、空間利活用のルールづくりを行政や地元団体と連携して取り組みます。

##### ・様々な施設空間を活用した文化と魅力が感じられるまち

金山南ビル、アスナル金山、市民会館などの施設敷地（公開空地、駐車場等）を活用した賑わい・魅力発信の機会創出に施設所有者等と連携しながら取り組みます。

##### ・まちなかにおける魅力的チャレンジの促進

駅前だけでなく地域内での出店や起業など新たなチャレンジを誘発するため、エリア内の空き家や空き地などのリノベーションや、魅力ある店舗など新たなサービスの創出を促進します。

##### ・多様な活動を支える持続的なエリアマネジメント事業の展開

まちづくりに関わる多様な活動が継続・発展できる場づくりを提供するために、連絡橋や駅前広場などにおいて収益性も考慮した管理運営を行うことで持続的なエリアマネジメントを推進します。



多様な空間活用やチャレンジのイメージ



行政や地元団体と連携した取り組みのイメージ



### 03

#### 多様な文化に触れられる まちづくり

市民会館や音楽プラザなどのハイカルチャーな文化から、アスナル金山や街角ライブで繰り広げられるストリートカルチャーまで、多様で層の厚い文化を育むまちづくりを進めます。

##### ・多様な文化が生まれ、触れられる場と機会づくり

公共空間や民有地の空間で街かどライブやアート展示等の活用など、幅広いジャンルの活動が可能となる環境づくりを進めます。また、イベント相互のコラボレーション機会を通じて活動の相乗効果が発揮できるよう主催者のネットワーク形成やコーディネートを促進します。

##### ・地域の文化と魅力の情報発信

金山を目的地とした来訪者やリピーターを増やすために、フリーペーパーの発行やSNSなど、メディア事業者等と連携して新たなコミュニケーションツールを活用した文化・魅力の情報発信に取り組みます。



ストリートライブなど多様な文化に触れる街角のイメージ



様々なまちなか空間での表現（アート展示等）のイメージ

### 04

#### 都心で便利に 安心して過ごせるまちづくり

駅前の繁华街と後背の住宅地が近接する金山地区は、都心でありながら住む人や来訪者が便利で安心して過ごすことができる都心まちづくりを進めます。

##### ・金山のイメージを向上する地域美化の推進

住む人、働く人、訪れる人みんなが快適で美しいまち金山をつくるため、地域住民や事業者など様々な主体と協力して地域の緑化や美化、マナー向上等を推進します。

##### ・安心安全なまちづくりの推進

地域住民の防犯・防災活動を始め、拠点駅として来街者向けの防災活動への協力支援や、市関係部署との連携のもと発災時の帰宅困難者対応に協力するなど、地域一体となって防犯や防災活動を推進します。

##### ・地域と繋がる安心安全な居住環境の推進

地域が相互に顔の見える関係を構築し、高齢者や若者、子育て世代などあらゆる世代が安心して過ごせる環境づくりを推進します。

##### ・新しい技術を活用したまちづくりの推進

より便利で快適な暮らしを支えるためのIT技術（防犯システム・情報発信システム）など、地域全体で活用できる次世代技術を事業者等と協力して検討していきます。

##### ・地域コミュニティ活動への協力

地域のコミュニティ活動を通じて見出された様々な課題などに対し、当該コミュニティ組織を始め関係行政機関等と連携しながら、その解決・改善に協力します。



駅周辺の清掃活動のイメージ



まちなか防災訓練のイメージ



### Playable KANAYAMA ～みんなが主役になるまち～



チャレンジ  
できるまち

新しく出店した人が  
チャレンジできる

通学だけでなく学生と地域の  
人の繋がりが生まれる

まちの魅力をSNSで自  
慢したくなる

多様な文化に  
触れられるまち

音楽ライブで  
誰もが主役になれる

どこからか楽しげな  
音楽が聞こえてくる

カフェやオープンスペースで気軽にア  
ート展示できる

フリーペーパーやSNSなどで  
まちのイベント情報が届く



心地よく  
回遊できるまち

歩きやすくて心地  
よく回遊できる

周辺拠点とつながり  
移動しやすい



ひとつ向こうの路地裏  
まで行きたくなる

グルメやお出かけ情報が  
気軽に入手でき金山に何  
度も行きたくなる



まちの治安が良くなり  
安心して暮らせる

緑を感じられる環境  
で地域と繋がりが  
子育てできる

災害時でも安心して  
駅前に避難できる



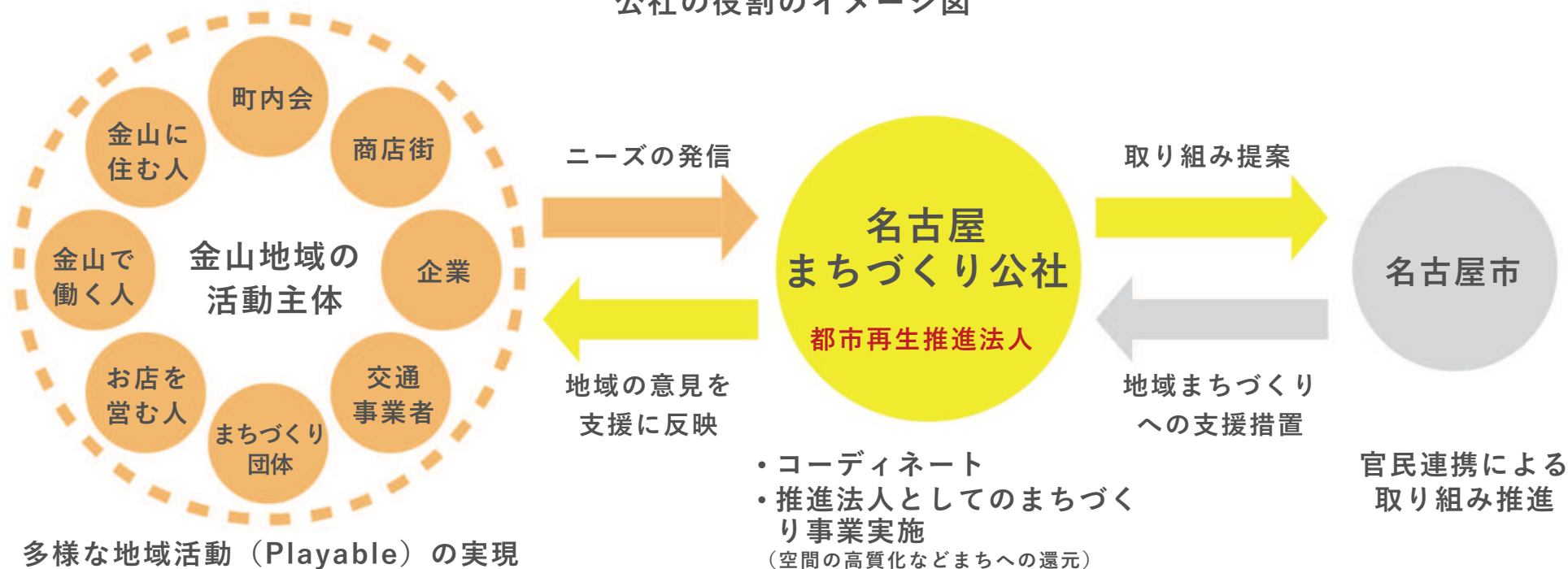
IT技術等を活用して、移動や暮ら  
しを支える高度なシステムが導入  
されている



安心して  
過ごせるまち

- 私たち名古屋まちづくり公社は、これまで金山地域において金山南ビルやアスナル金山の運営や連絡橋の管理などを通して、まちの基盤を支える事業に地域の方々と連携しながら取り組んできました。
- 金山のまちづくりをさらに持続可能なものとするため、今後公社は地域主体のエリアマネジメントの中核的な役割として、このエリアで活動する主体を支援し、Playableな環境を整えることでまち全体の魅力向上を支えます。
- そのために、都市再生推進法人の枠組みを活用※することで、地域の意見を各種取組みに反映させながら、地域に密着したまちづくりを展開していくことを目指します。※公社は都市再生推進法人の指定を目指しています
- また、今後の都市開発においても、行政と地域の声を結び付ける役割で貢献していきます。

公社の役割のイメージ図



## 参考

---

- ・都市再生整備計画、都市利便増進協定とは
- ・都市再生推進法人とは



## 都市再生整備計画

都市再生整備計画とは、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域を対象に、市町村が作成する「当該公共公益施設の整備等に関する計画」です。

計画内容：区域、まちづくりの目標、目標を達成するために必要な事業・計画期間等。

都市再生整備計画を策定するのは市町村ですが、都市再生推進法人は市町村に対して、自らの業務を行うために必要な計画の作成または変更を提案することができます。その際には、計画の素案を提出する必要があります。

## 都市利便増進協定

都市利便増進協定は、都市再生整備計画の区域において、住民や観光客等の利便を高め、まちのにぎわいや交流の創出に寄与する各種施設（都市利便増進施設）を、居住環境にも資するよう自主的に整備・管理していくための協定制度です。

地域のまちづくりのルールを地域住民等が自主的に定めるための協定制度ですので、地域のエリアマネジメントを継続的に取組む際に活用することが期待されます。

都市利便増進協定と道路や河川敷地、都市公園の占用許可を組み合わせれば、公共空間を“活用”することで得た収益を、公共空間の“管理”に還元していくスキームを構築・運用することができます。

街の賑わいや  
憩いの場を提供する  
施設



広場



駐輪場



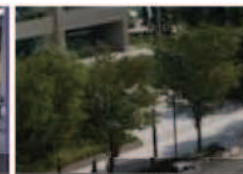
緑地



ベンチ



広告板



並木



街灯

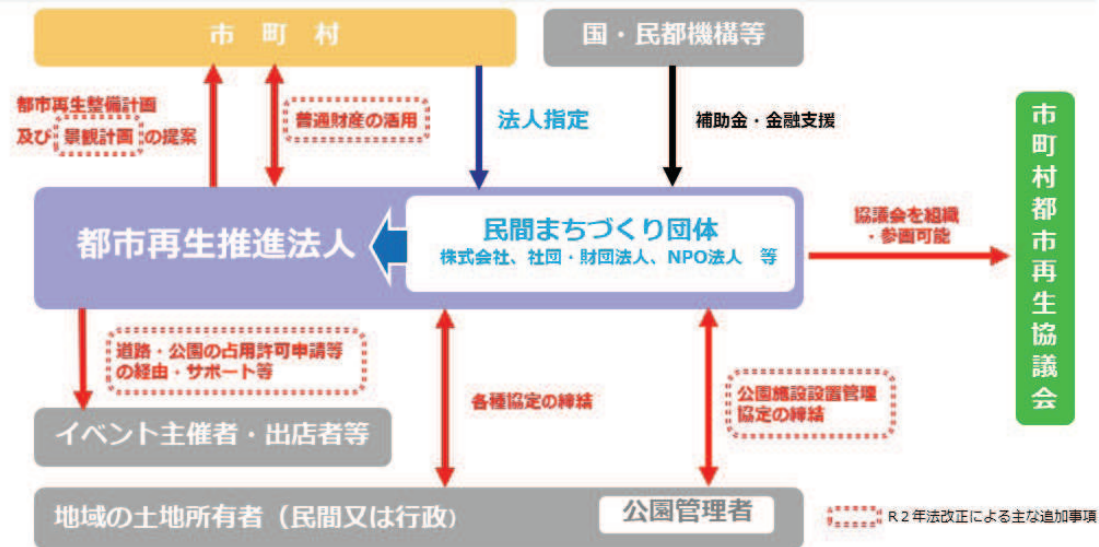
## 都市再生推進法人

都市再生推進法人とは、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するものをいいます。

- まちづくりに関する豊富な情報やノウハウを有し、運営体制・人材等が整っている優良なまちづくり団体に公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、その積極的な活用を図る制度です。
- 市町村や民間デベロッパー等では十分に果たすことができない、まちづくりのコーディネーター及びまちづくり活動の推進主体としての役割を果たすことが期待されています。

## 都市再生推進法人の位置づけのイメージ図

都市再生推進法人は、まちづくりに関する豊富なノウハウ等を有し、運営体制等が整っている優良なまちづくり団体に対して、都市再生特別措置法に基づき市町村長が指定する法人をいう。



出典) 国土交通省「官民連携まちづくりポータルサイト」

## 都市再生推進法人のメリット

- まちづくりの担い手として、公的位置付けを付与
- 市町村に対する都市再生整備計画の提案が可能
- 都市利便増進協定を締結することが可能

## 実施する事業イメージ

- オープンカフェ
- 自転車共同利用事業
- 広告塔等の整備管理
- まちなか美化清掃活動
- 歩行者天国等でのイベント開催